

想定就職先

- 例1)** 感染症、熱帯医学、国際保健、グローバルヘルスを標ぼうする国内外の大学や研究機関の教授・准教授や部長レベルの独立した研究者、熱帯医学・感染症・グローバルヘルス領域のNGOを含む国際機関や国内の行政において部長クラスのリーダーのポスト、国内の医療機関においては感染症診療領域の指導的立場にある専門医。
- 例2)** グローバルヘルス領域における極めて高度な学問的知識・調査研究技能・探究能力を有し、同領域での実践活動における主導的役割を担う人材として、WHO等の国際機関専門家、大学等の教育・研究機関教員、開発コンサルティング企業やNGOなどの国際実践プロジェクトの実務専門家の総括、JICA等の国際保健・協力機関のマネージャー並びにその候補者。各組織における国際実践プロジェクトの推進を図るとともに、実践を通じた専門的知見の結晶化や発信を担い、グローバルヘルス領域における規範の設定に関与する。
- 例3)** グローバルヘルスに関する製薬企業や医療機器関連企業の研究所の研究者、感染症、熱帯医学、国際保健、グローバルヘルスを標ぼうする国内外の大学や教育研究機関の独立した研究者、熱帯医学・感染症・グローバルヘルス領域のNGOを含む国際機関や国内の行政機関における中堅行政職ポスト。

16
単位
取得

【演習・研究】

30
単位
取得

【研究】

【実践】

【応用】

【専門基礎】

【基礎】

博士前期(修士)課程

博士後期課程

演習科目(1年次)

・グローバルヘルス研究演習 ④

研究指導(2~3年次)

グローバルヘルス特別研究⑩

【演習・研究】: 実践に基づく調査研究、博士論文の作成、グローバルヘルスの改善に資する研究結果の創出。
※自らが従事する研究課題に関する専門的知識を補充する目的で、1年次と2年次に自由科目として補足的に博士前期の科目を履修することができる。

想定就職先: 熱帯地域・発展途上国において重要な熱帯感染症などの疾病に関する高度な学問的知識を有し、実地臨床の現場で新たな課題を発見し、必要な情報を収集し、これを解決する能力を備えた研究マインドを持った臨床医として大学病院に勤務

想定就職先: 国際保健・グローバルヘルス領域における高度な学問的知識に加え、国際保健・グローバルヘルスの現場で、高度な実務能力、実践的能力を有し、熱帯地域、発展途上国における健康問題の解決に貢献する実務専門家(JICAプロジェクトに従事)

想定就職先: 基礎・応用医科学や健康社会科学・社会工学、ベクター生態学、疫学・集団健康学、健康情報学等の分野で、ラボ/デスクとフィールドと臨床を繋ぐイノベティブな科学を、他の分野と協力して推進・応用できる研究者。(博士後期課程修了後、研究者となることも想定)

博士後期課程
へ進学

博士後期課程
へ進学

博士後期課程
へ進学

課題研究(特定課題研究)

研究指導

・グローバルヘルス演習 I

演習科目

・グローバルヘルスセミナー ②

地球環境・衛生学モジュール

・衛生動物学 ②

疫学・統計学モジュール

・疫学 II ①
・統計学 II ①

臨床熱帯医学モジュール

・臨床熱帯医学(臓器別) ②
・臨床熱帯医学(地域別) ①

基礎熱帯医学モジュール

・病原微生物学 I ① ・病原微生物学 II ②
・病原微生物学 III ② ・免疫学 ①
・バイオテクノロジー ① ・病理学 ①

・疫学 I ② ・統計学 I ②
・研究倫理 ①

・熱帯医学基礎 II ②
・グローバルヘルス I ②
・グローバルヘルス II ①
・地球環境・衛生学 ②

熱帯医学コース

研究指導

・グローバルヘルス演習 I ①
・グローバルヘルス演習 II ①

演習科目

・グローバルヘルスセミナー ②

・長期海外研修 ②

保健政策・マネジメントモジュール

・医療経済 ① ・保健制度・政策 I ①
・プロジェクト・プログラム管理 I ①
・社会企業論 (1)

社会行動科学モジュール

・ヘルス・プロモーション I ①
・医療人類学 I (概論) ① ・社会調査(質的) (1)

国際地域保健学モジュール

・リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー I ①
・小児保健 I ① ・小児保健 II ①
・地域保健 I ①

・短期フィールド研修 ①

・疫学 I ② ・統計学 I ②
・研究倫理 ①

・熱帯医学基礎 II ②
・グローバルヘルス I ②
・グローバルヘルス II ①
・地球環境・衛生学 ②

国際健康開発コース

研究指導

・グローバルヘルス演習 I ①
・グローバルヘルス演習 II ①

演習科目

・ヘルスイノベーションゼミ I ②
・ヘルスイノベーションゼミ II ④
・グローバルヘルスセミナー ②

地球衛生・環境学モジュール

・衛生動物学 (2)

疫学・統計学モジュール

・疫学 II (1)
・統計学 II (1)

基礎熱帯医学モジュール

・バイオテクノロジー (1)
・病理学 (1)

・疫学 I ② ・統計学 I ②
・研究倫理 ①

・熱帯医学基礎 I ②
・熱帯医学基礎 II ②
・グローバルヘルス I ②
・グローバルヘルス II ①
・地球環境・衛生学 ②

ヘルスイノベーションコース

入口: 大学を卒業した医師で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での臨床に興味と意欲を有している者。(例: 大学卒業後、医師として2年の臨床経験を有する者)

入口: 大学を卒業した学士で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での実務に興味と意欲を有している者。(例: 民間企業に勤務し、海外協力隊の経験を有する者)

入口: 大学を卒業した学士で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での応用研究に興味と意欲を有する者。(例: 環境科学部卒業生)

【博士後期課程における教育研究の特色】

- 入学から、研究指導、研究計画書審査、博士論文審査、最終試験、学位授与まで教務に関する事項はAC学務委員会(Academic Committee)が所掌する。(教授会が承認)
- 異なる分野の教員3名によるGH研究指導
- 研究計画書の審査によりブラッシュアップを実施。
- 熱帯医学・グローバルヘルス研究科教員及びロンドン大学衛生・熱帯医学大学院教員による国際共同研究に参加し、世界レベルの研究における、教育、研究、実践が三位一体となった指導を実施。

リサーチワーク中心のカリキュラム

【修士課程における教育研究の特色】

- 全授業英語開講
- チュートリアルによる修学支援強化
- 海外から著名な専門家の招聘
- 海外協力病院等とのリアルタイムでの症例デモンストラーション
- 長崎大学の豊富な基礎感染症学系教員による系統講義と実習
- 他コースとのシナジー効果
- 熱帯医学、国際保健等の基本的知識を修得する科目及び研究倫理や疫学統計学等の研究活動に必要な知識・技能を修得
- 海外病院での実習や長期海外研修等により修士レベルで教育、研究、実践が一体となった教育内容の構築

コースワーク中心のカリキュラム